

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保健福祉施策事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	03	01	01	03	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	保健福祉施策の円滑な運営と市民の理解とサービス利用の増進。
事業内容	保健福祉の施策を推進するための事務執行と事業実績を冊子にし、事業（サービス）内容を的確に紹介している。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度は保健福祉施策事業と「流山の保健福祉」発行事業が分割されていたが、平成23年度から統合され、保健福祉施策事業として、必要経費の旅費、消耗品、複写機等使用料を執行。刊行物の「流山の保健・福祉」は平成22年度から経費削減の観点から内部印刷とし、関係機関等に配布するとともに、市のホームページに掲載し市民への周知を図った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	「流山の保健・福祉」ホームページビュー数	294	136	115	回	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 保健福祉の主な事業内容と3年間の実績をまとめた年度版として「流山の保健・福祉」を作成し、配布している。また、市のホームページに掲載して市民の利用促進を図っている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,507,380	1,467,270	1,511,853			
事業費(b)(円)				60,907			
うち一般財源				60,907			
職員給与費(c)(円)		1,507,380	1,467,270	1,450,946			
人役・職員(人)		0.21	0.21	0.21			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	保健福祉施策の推進を図りつつ、事業経費の縮小に努める。	③取り組みの課題	市民への周知を増進するための精査を心掛ける。
②今年度(H26)に実施した取り組み	市民への事業紹介の刊行物の内容を落とさず、内部印刷により経費の削減を図った。	④今後の改善計画	最小の経費で最大の効果が高められるよう努めるとともに、引き続きホームページに掲載するなど経費の削減を図る。